

参考 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）について

● SFTS とは

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）は、主に SFTS ウイルスを保有しているマダニに咬まれることにより感染する病気です。人と動物のどちらにも感染する人獣共通感染症であり、国内で人や動物の感染症例が報告されています。

● 感染経路

多くの場合、ウイルスを保有するマダニに咬まれることにより感染しますが、SFTS ウイルスに感染した猫や犬との接触により感染したと考えられる症例も報告されています。

● 症状

発熱、消化器症状（食欲不振、嘔気、嘔吐、下痢、腹痛）などが現れます。
猫や犬の場合も人と同じような症状を示すことがあります。

● マダニについて

食品や、衣類・寝具に発生する家庭内で見られるダニとは種類が異なります。

固い外皮に覆われた比較的大型（吸血前で3～8mm）のダニで、主に森林や草地に生息していますが、郊外、市街地でも生息しています。



フタトゲチマダニ

タカサゴキララマダニ

（出典：岐阜県保健環境研究所）

● 予防のポイント

農作業や庭仕事、レジャー等、屋外で活動する際には

- ・長袖・長ズボンなどを着用して、肌の露出を少なくしましょう。
 - ・マダニに対する忌避剤の使用も有効です。
 - ・野生動物はどのような病原体を保有しているかわかりません。野生動物との接触は避けてください。
 - ・作業後は身体や服をはたき、マダニに咬まれていないか確認しましょう。
- 帰宅したら、入浴をしましょう。

マダニに咬まれた場合

- ・無理に引き抜こうとせず、医療機関で処置をしてもらいましょう。
- ・発熱等の症状が認められた場合は医療機関で診察を受けて下さい。

ペットの飼い主の方へ

- ・動物に触ったら必ず手を洗いましょう。
- ・過剰なふれあい（口移しで餌を与えたり、動物を布団に入れて寝る等）は控えて下さい。
- ・猫は屋内で飼うようにしましょう。
- ・飼育している動物の健康状態の変化に注意し、体調不良の際には動物病院を受診してください。

● 詳しくは

- ・厚生労働省ホームページ（重症熱性血小板減少症候群（SFTS）について）
<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000169522.html>
- ・国立健康危機管理研究機構ホームページ（重症熱性血小板減少症候群（SFTS））
<https://id-info.jihs.go.jp/diseases/sa/sfts/index.html>
- ・岐阜県公式ホームページ（ダニが媒介する感染症）
<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/10611.html>